

■平成26年度日本沿岸域学会 研究討論会プログラム(平成26年7月25日(金) 於:東海大学 海洋学部 8号館 3.4階

(26.7.7現)

時間	会場1(8404)			会場2(8301)			会場3(8303)			会場4(8331)				
09:00 ~ 10:20				セッション1 歴史・歴史的建造物と津波被災等 座長:山本和清(日本大学) 指定討論者:田中博通(東海大学)			セッション2 漂着物・環境汚染 座長:李 銀姫(東海大学) 指定討論者:佐藤治夫(東海大学)			セッション3 利用・沿岸域管理 座長:佐々木淳(東京大学大学院) 指定討論者:細川恭史((一財)みなと総合研究財団)				
	開始時間	講演番号	研究発表タイトル	講演者	講演番号	研究発表タイトル	講演者	講演番号	研究発表タイトル	講演者	講演番号	研究発表タイトル	講演者	
	9:00			1-1 歴史遺産・軍艦島を守るコンクリート護岸の健全度調査 酒井 貴洋	後藤 浩	2-1 プラスチック由来の化学物質による対馬沿岸の汚染調査 西野 晃充	秋本 悠喜	2-2 プラスチック由来の化学物質による北海道沿岸の汚染調査 小林 尚史	1-4 日本統治時代朝鮮における築港事業について -1910 ~ 1931年を中心に- 井上 敏孝	上久保 祐志	3-1 伝統的な沿岸域資源管理システムとしてのサシの展開と構造変化 -インドネシアのマルク地方を対象として- Awwaluddin	3-2 みなとまちづくりを担う地元団体の取り組みに関する研究 -「八幡浜みなとまちづくり協議会」による取り組みの要因に着目して- 川名部 弘輝	3-3 放射性廃棄物等への海面処分技術適用の可能性 江口 信也	3-4 福井県水島での合意形成に基づく砂浜安定化事業の実践 小澤 宏樹
	9:20			1-2 東北地方太平洋沖地震津波の浸水域および 浸水域近傍に存在する寺院の津波防災に関する一考察 後藤 浩	秋本 悠喜	2-3 八代海における海岸漂着物の漂流特性 上久保 祐志	井上 敏孝	2-4	3-5	3-6	3-7	3-8		
	9:40			1-3 市民認知を継承する津波碑の保存・整備に関する研究 - (その2) 青森県・宮城県における現地調査結果に基づく考察 - 秋本 悠喜	2-5	3-9	3-10	3-11	3-12	3-13	3-14	3-15		
	10:00			1-4	2-6	3-16	3-17	3-18	3-19	3-20	3-21	3-22		
	セッション4 物理・海浜変形 座長:大谷靖郎(日本ミクニヤ株) 指定討論者:青木伸一(大阪大学)			セッション5 防災 座長:木原一禎(三菱重工鉄構エンジニアリング株) 指定討論者:鈴木 武(国土技術政策総合研究所)			セッション6 沿岸利用・環境活動 座長:佐野清史(東洋建設株) 指定討論者:長尾正平(ニシキコンサルタント株)			セッション7 利用・沿岸域管理 座長:閑いづみ(東海大学) 指定討論者:小島治幸(九州共立大学)				
	開始時間	講演番号	研究発表タイトル	講演者	講演番号	研究発表タイトル	講演者	講演番号	研究発表タイトル	講演者	講演番号	研究発表タイトル	講演者	
	10:30	4-1	波的作用を利用した埋没機場の復元手法 -福井県三国海岸での試行-	星上幸良	5-1	港湾内に係留された船舶のための津波ハザードマップ開発に関する研究 星野 智史	5-2	6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	7-1	
	10:50	4-2	島根県野波海岸に見る過疎化地域での海岸人工化と将来 野志 保仁	吉野 貴之	5-3	東日本大震災時の船舶の錨泊挙動に関する研究 赤倉 康寛	5-4	6-6	6-7	6-8	6-9	6-10	7-2	
	11:10	4-3	富津岬南岸に位置する布引海岸の侵食とBGモデルによる地形変化 の再現 鈴木 崇之	11:30	4-4	タイランド湾における海岸侵食問題とその対策 登川 幸生	11:50	4-5	5-5	5-6	5-7	5-8	7-3	
	11:50	4-5	玄界灘に面した箱瀬～曾根の鼻間のポケットビーチの海浜変形 宇多 高明	惠藤 浩朗	6-11	河川を活用した災害時医療支援浮体の基本計画 長谷川 満加	6-12	6-13	6-14	6-15	6-16	6-17	7-4	
	セッション8 海洋再生可能エネルギー 座長:富田孝史((独)港湾空港技術研究所) 指定討論者:磯部雅彦(高知工科大学)			セッション9 防災(構造・施工) 座長:関本恒浩(五洋建設株) 指定討論者:小野憲司(京都大学防災研究所)			セッション10 生態系・水産 座長:岩井克巳(日本ミクニヤ株) 指定討論者:渡邊修一((独)海洋研究開発機構むつ研究所)			セッション11 利用・復興・事業手法等 座長:後藤 浩(日本大学) 指定討論者:橋間元徳((社)ウォーターフロント協会)				
13:00 ~ 15:00	開始時間	講演番号	研究発表タイトル	講演者	講演番号	研究発表タイトル	講演者	講演番号	研究発表タイトル	講演者	講演番号	研究発表タイトル	講演者	
	13:00	8-1	越波式波力発電装置の越波量に関する模型実験 中河 裕弥	9-1	高密度スラグを活用した水中不分離性重量コンクリートの基本性能 小西 優貴	10-1	東京湾におけるアサリ幼生の鉛直分布特性について 下山 航大	11-1	災害時要援護者における自主防災組織の構築に関する調査・研究 -千葉県長生郡一宮町を対象として- 三好 隆正	11-2	震災復興における「高台移転」を活用したまちづくりに関する研究 -石巻市雄勝半島における地域の固有性・多様基づく集落再生に関する研究 その13- 西野 拓人	11-3	市町村合併が漁業地域の振興の取組に及ぼした影響 -長崎県の離島を事例に- 浪川 珠乃	
	13:20	8-2	越波式波力発電装置の選上と越波の数値計算 山部 祐也	9-2	海水・海砂を用いた自己充填型コンクリートの基本性能 竹中 寛	10-2	鹿児島県吹上浜の砂浜海岸サーフゾーンの魚類の食性 北川 潤一	11-4	小規模漁業集落の被災跡地における整備計画の策定 -宮城県東松島市宮戸地区を事例に- 大島 肇	11-5	海岸保全整備事業における合意形成のための計画手法について -別府港海岸里浜づくりを事例として- 小島 治幸	11-6	多様な漁業種類に対応した漁港の衛生品質管理に関する研究 林 浩志	
	13:40	8-3	流木等の利活用と持続可能な国土およびエネルギーのあり方 田中 博通	9-3	津波の陸上氾濫の数値解析と粘り強い防潮堤の考察 藤原 明	10-3	鹿児島県吹上浜の砂浜海岸サーフゾーンの稚魚群集 加藤 めい子	12-1	災害時要援護者における自主防災組織の構築に関する調査・研究 -千葉県長生郡一宮町を対象として- 三好 隆正	12-2	震災復興における「高台移転」を活用したまちづくりに関する研究 -石巻市雄勝半島における地域の固有性・多様基づく集落再生に関する研究 その13- 西野 拓人	12-3	市町村合併が漁業地域の振興の取組に及ぼした影響 -長崎県の離島を事例に- 浪川 珠乃	
	14:00	8-4	越波式波力発電の沿岸域への適応可能性 居波 智也	9-4	地震動および津波が作用する盛土斜面の安定性と津波浸水に対する安全性 鶴ヶ崎 和博	10-4	小田和湾環境調査 -海の定期健康診断- 壱岐 信二	12-4	小規模漁業集落の被災跡地における整備計画の策定 -宮城県東松島市宮戸地区を事例に- 大島 肇	12-5	海岸保全整備事業における合意形成のための計画手法について -別府港海岸里浜づくりを事例として- 小島 治幸	12-6	多様な漁業種類に対応した漁港の衛生品質管理に関する研究 林 浩志	
	14:20	8-5	PW-OWC装置の既存消波ケーソンへの適用に関する一考察 木原 一禎	9-5	日本の沿岸で「緩衝帯」を考える -自然保護区の設定による減災 清野 聰子	10-5	鹿児島県吹上浜の砂浜海岸潮間帯のマクロファウナ群集 樹谷 英一	13-1	災害時要援護者における自主防災組織の構築に関する調査・研究 -千葉県長生郡一宮町を対象として- 三好 隆正	13-2	震災復興における「高台移転」を活用したまちづくりに関する研究 -石巻市雄勝半島における地域の固有性・多様基づく集落再生に関する研究 その13- 西野 拓人	13-3	市町村合併が漁業地域の振興の取組に及ぼした影響 -長崎県の離島を事例に- 浪川 珠乃	
	14:40	8-6	消波ケーソンを利用したPW-OWC型波力発電装置の実現可能性に関する実験的検証 居駒 知樹	9-6	千葉県房総半島における津波避難対策としての竹材利用と竹林管理の検討 大竹 洋平	10-6	日本の開放的な砂浜海岸サーフゾーンの魚類相 須田 有輔	13-3	市町村合併が漁業地域の振興の取組に及ぼした影響 -長崎県の離島を事例に- 浪川 珠乃	13-4	小規模漁業集落の被災跡地における整備計画の策定 -宮城県東松島市宮戸地区を事例に- 大島 肇	13-5	海岸保全整備事業における合意形成のための計画手法について -別府港海岸里浜づくりを事例として- 小島 治幸	
15:10 ~ 16:50	セッション12 物理・数値シミュレーション 座長:宇於崎泰寛((一財)みなと総合研究財団) 指定討論者:小林昭男(日本大学)			セッション13 防災 座長:居駒知樹(日本大学) 指定討論者:小原恒平(みらい建設工業株)			セッション14 環境・生物 座長:島谷 学(五洋建設株) 指定討論者:西村 修(東北大)			セッション15 環境・景観・政策 座長:村井基彦(横浜国立大学) 指定討論者:川西利昌(日本大学)				
	開始時間	講演番号	研究発表タイトル	講演者	講演番号	研究発表タイトル	講演者	講演番号	研究発表タイトル	講演者	講演番号	研究発表タイトル	講演者	
	15:10	12-1	海洋レーダーデータの信頼度が4次元変分データ同化に及ぼす影響 藤井 裕司	13-1	津波関連標識のデザインに関する研究 -太平洋沿岸における市区町村の事例調査をもとに- 藤生 拓身	14-1	東京湾における熱環境の変動解析 吉松 亮一	15-1	オープンデータを用いた海岸景観の指標化に関する研究 市村 康	15-2	ビオトープの構造要素を用いた沿岸域環境教育の試み 池田 真啓	15-3	海面上昇と海岸域の浸食に伴う砂浜変動への対応策と再生 東京湾葛西臨海公園における砂浜再生に関する実験考察-1 塩入 同	
	15:30	12-2	富山湾におけるうねり性波浪の特性についての研究 眞岩 一幸	13-2	東京湾における高潮リスクに関する一考察 久松 力人	14-2	循環型浄化システムによる堆積汚泥の浄化過程における微生物の特定 曾根 孝亮	15-4	オーブンデータを用いた海岸景観の指標化に関する研究 市村 康	15-5	ビオトープの構造要素を用いた沿岸域環境教育の試み 池田 真啓	15-6	海岸の一本的管理における横断連携のあり方に関する研究 塩入 同	
	15:50	12-3	津軽海峡の環境変動把握 渡邊 修一	13-3	被災漁村の復興過程で明らかになった課題とその対応策の検討 中村 克彦	14-3	マイクロバブルと微生物活性剤を用いた堆積汚泥の浄化実験 -活性剤の酵素成分比率による浄化性能- 山下 和浩	15-7	海岸の一本的管理における横断連携のあり方に関する研究 塩入 同	15-8	海面上昇と海岸域の浸食に伴う砂浜変動への対応策と再生 東京湾葛西臨海公園における砂浜再生に関する実験考察-1 恩田銀二郎	15-9	石垣島における沿岸域利用の実態と課題 李 銀姫	
	16:10	12-4	航行船舶が捉えた東日本震災時の海震の計測 塩谷 茂明	13-4	3.11の地震・津波被災で人々はなぜ逃げなかったのか? -千葉県旭市での事例- 平塙 四郎	14-4	港湾構造物のムラサキイガイ除去による生物多様性向上効果と海 産バイオマス回収 三好 真千	15-10	海岸の一本的管理における横断連携のあり方に関する研究 塩入 同	15-11	海面上昇と海岸域の浸食に伴う砂浜変動への対応策と再生 東京湾葛西臨海公園における砂浜再生に関する実験考察-1 恩田銀二郎	15-12	石垣島における沿岸域利用の実態と課題 李 銀姫	
	16:30							14-5	日本の海洋保護区制度の特徴と課題 釣田いずみ					